

# 町長日誌

祝 No.200



町長日誌の第200号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月16日(火) PM3:00

この「町長日誌」も皆様からご愛読を頂き今回が200回目となりました。平成15年の広報9月号に第1回を掲載してから16年10ヶ月が経ちます。実は平成24年の4・5月の2回だけ手術入院のため休載しましたので、今回が200回目となりました。そこで、今回は200回を記念してこれまでの節目の時に何を書いていたか振り返ってみたいと思います。

1回目は平成15年8月13日に書いたもので、町長就任後の挨拶回りや国土交通省河川局長に就任された清治真人さん(興部町出身)とお会いしたこと、紋別市が主導していた合併研究会のことなどが書かれてありました。実は、この日誌を始めたのは当時ニセコ町長の逢坂さんが職員向けの「町長日記」というブログを毎日書いていたのがきっかけでした。全道の役場職員はじめ多くの皆さんがこのブログを見ていたと思います。私はとても毎日書き込む自信がありませんでしたので、町民の皆さんに町政や町長の仕事を解り易く理解してもらおうと月1回「日誌」として書き始めたのでした。

50回目は、平成19年10月号で、9月17日に書きました。この年は大干ばつで雨が降らず、9月に入って水道水源である宇津川からの取水が困難になり興部川から原水を汲み上げました。9月10日は興部神社例大祭でしたが台風9号が北海道に上陸し大雨のため神輿の渡御も出来ない荒れ模様でしたが、そのお陰で水源の水量は復旧し、正に恵みの雨となったのでした。また8月31日に元町長安藤正雄さんがお亡くなりになり沙留公民館で町葬を執り行いました。

100回目は、平成24年1月号で前年の12月21日に書いています。北朝鮮の金正日総書記が亡くなったというニュースが飛び込んできました。国内では平成21年9月に民主党が政権を取ってから鳩山、

菅そして野田と3人目の総理大臣です。第一次安倍総理から9年間で7人総総理大臣が変わったのでした。当時の日誌にはNHKホールで聴いた「野田総理の挨拶が心に響かなかった」と書いてありました。野田総理が退任したのはこの1年後で、同時に民主党政権が終幕し、今の安倍総理が再登板し今に続く長期政権となるのです。

150回目は、平成28年5月号で4月17日に書いています。この年は春の吹雪もなく雪解けも早く穏やかな春でした。27・28年の2ケ年で北興バイオガスプラント建設工事、さらには長年の懸案であった沙留漁港東防波堤(赤灯台)の沖だし拡張工事決定の知らせが届いた時でした。合併して4年が経過した北オホーツク農協は販売額約117億円と過去最高となり合併を主導された眞坂組合長が勇退されました。その農協総会の前日4月14日に「熊本地震」が発生したのです。熊本城が崩落し多くの犠牲者が出ましたが、未だに復興の途中であることを私たちは忘れてはなりません。

1・50・100・150回の日誌を振り返ってみましたが、政権は自民から民主そして自民へと移り、一強を誇っていた安倍政権もここにきて支持率が急落しています。平成の合併で揺れた自治体も結果としてそんなに大差の無い行政運営が行われています。労働環境が厳しく3Kと言われた酪農は乳価が35円も引き上げられTPP対策が追い風となり北海道農業の大黒柱となりました。道内の水産業を支えてきたサケは不漁が続き水産大国と言われた北海道の水揚げは激減しています。唯一支えるホタテもコロナの影響から価格の下落が心配です。ちょっと前までは「インバウンド観光」が北海道振興の旗頭の様になっていましたが、目に見えないウイルスにあっていう間に立ち直れないほどの打撃を受けています。全く手前味噌な話ですがこの町長日誌を振り返ってみるとそんな時代の変化が見えてくると感じました。

これからも広報担当からストップがかからない限り、町民の皆様はこの日誌を通して行政の事や皆様からのご意見などを書いていきたいと思ひます。

では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願ひます。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL82・2131です。

